

● 高瀬久男（演出家／文学座 1957-2015）

1957年生まれ、山形県出身。玉川大学芸術学科演劇専攻卒業後、80年に文学座附属研究所に入所し85年座員昇格。87年『THE MERCHANT』で初演出以後、精力的に演出活動を行う一方、児童向けの作品を多く手掛ける中で戯曲執筆も行い、93年の劇団うりんこ公演『あした天気になあれ！』では第31回斎田喬戯曲賞、96年の『この空があるかぎり』では児童福祉受賞するなどこの方面でも活躍した。

91年には文化庁派遣芸術家在外研修員として1年間英国ロンドンに滞在。

99年の『花のかたち』を皮切りに、『海と日傘』『夏の砂の上』など多くの松田正隆作品を手掛けた。

02年にはデュマの『巖窟王』を大胆に脚色した『モンテ・クリスト伯』などで芸術選奨文部科学大臣新人賞、03年『アラビアン ナイト』で毎日芸術賞千田是也賞、10年には『冬のライオン』『カラムとセフィーの物語』で第45回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。12年、ポーランドの問題作『ナシヤ・クラサ』を手掛け、第20回読売演劇大賞の最優秀作品賞／優秀演出家賞を受賞した。

05年より桜美林大学総合文化学群の専任講師となり、10年より同舞台芸術研究所所長、14年より同芸術文化学群教授。